

## ヨコハマ市民まち普請事業 1次コンテスト実施要領

制 定 平成17年4月11日 都支 第 7号 (局長決裁)  
最近改正 令和7年2月10日 都地ま第1150号 (局長決裁)

(趣旨)

第1条 この要領は、ヨコハマ市民まち普請事業制度要綱（平成17年4月11日都支第 6号。以下「要綱」という。）に基づく1次コンテストの実施に際し必要となる事項を定める。

(第1次提案)

第2条 要綱第14条に規定する事前登録の申し出は、事前登録申込書（第1号様式）により行うものとする。

2 要綱第5条に規定する第1次提案は、1次コンテスト申込書（第2号様式）及び第1次提案書（第3号様式）により行うものとする。

(予備審査)

第3条 市長は、第1次提案の応募が多数の場合にあっては、1次コンテストの前に、書類による予備審査を実施することができる。

2 前項の予備審査は、別に定める横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会（以下「部会」という。）に諮らなければならない。

(1次コンテストでの配慮)

第4条 市長は、1次コンテストの実施にあたっては、提案グループ及び参加する市民の情報交換又は交流が図られるよう、十分配慮しなければならない。

(1次コンテスト審査結果)

第5条 市長は、要綱第6条第4項の審査結果を通知するときは、部会の講評を添えるものとする。

附 則

この要領は、平成17年4月14日から施行する。

附 則

この要領は、平成18年2月17日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年3月25日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年6月6日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年2月12日から施行する。

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 事前登録申込書

横浜市長

ヨコハマ市民まち普請事業の事前登録を申し込みます。

フリガナ 氏 名		
連絡先	フリガナ 氏 名	※申込者と異なる場合は記入してください。
	〒 住 所 電 話 携帯電話 F A X Eメール	( ) ( ) ( )

整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	区	町・丁目
整備提案の内容 (どのような整備を 検討しているのか記 入してください)		

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 1次コンテスト応募申込書

横浜市長

この事業の1次コンテストに、関係書類を添えて申し込みます。

フリガナ 提案名 (25字以内)		
フリガナ 提案グループ名 (25字以内)		
フリガナ 代表者氏名注1)		
連絡 責任 者	フリガナ 氏名注1)	
	連絡先 注1)	住 所 〒  電 話 ( ) 携帯電話 ( ) F A X ( ) Eメール

注1) 当該個人情報個人情報の保護に関する法律に則り、適正に管理し、まち普請事業及び地域まちづくりの交流のための連絡にのみ利用させていただきます。

グループ結成年月	年 月		
グループの メンバー構成	メンバー数	人	
	年代構成	20歳未満 人、20歳代 人、30歳代 人	40歳代 人、50歳代 人、60歳以上 人
提案グループの要件注2) を満たすメンバー			
氏 名	提案グループ内の 役割（専門分野）	他に所属している 市民活動団体等	整備場所との関係注2)
			区 町・丁目 在住・事業・土地建物
			区 町・丁目 在住・事業・土地建物
			区 町・丁目 在住・事業・土地建物

提案グループのメンバー			
氏名	提案グループ内の 役割（専門分野）	他に所属している 市民活動団体等	住所又は整備場所 との関係注2)
			区 町・丁目 在住・事業・土地建物・その他
メンバー以外の協力者・協力団体		協力内容	
次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。			
<input type="checkbox"/> グループのメンバーについては、本人に了承を得て記載しています。			
<input type="checkbox"/> グループのメンバーに横浜市暴力団排除条例の排除対象者（注3）は含まれていません。			

注2) 提案グループには、次のいずれかに該当する横浜市内の住民等を3人以上含んでいることが要件となります。

①整備場所又はそのお近くにお住まいの方（町名又は丁目まで記入したうえで「在住」に○）

②整備場所又はそのお近くで事業を営んでいる方（町名又は丁目まで記入したうえで「事業」に○）

③整備場所又はその近くに土地や建物を所有している方（町名又は丁目まで記入したうえで「土地建物」に○）

注3) 横浜市暴力団排除条例の排除対象者とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいいます。

※ 第2号様式は非公開です。ただし、選考の参考資料として用いるため審査委員への提供を行います。

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	
グループ結成の経緯・応募に至った経緯	
現在の主な活動内容・活動実績	
提案場所	区  町・丁目
提案名 (25字以内)	
提案する施設の概要 (80字以内)	
具体的な整備内容 (【ハード整備】何を整備しますか。)	整備費用の概算額：約 万円
活用イメージ (【ソフトの取組】提案する施設でどのような活動を行いますか。整備する場所に触れて説明してください。)	
提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	
<p><u>整備時の協働</u> （つくるときに連携する仲間や活用する地域資源<sup>注4</sup>）に触れて説明してください</p>	
<p><u>運営時の協働</u> （運営するときに連携する仲間や活用する地域資源<sup>注4</sup>）に触れて説明してください</p>	
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等 <sup>注5</sup> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 第1次提案書（添付書類を含む）の内容に個人情報はありません。